RP・NPシリーズ用 **取扱説明書（お客様各位）**

ご愛用のしおり RP・NP用紐ナシ（ステッカー付）（A2）
37232 00140967

安全上のご注意

必ずお守りください

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告
この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害程度」をいう。

⚠ 注意
この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

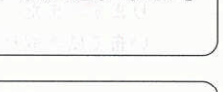
- このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
- このような図記号は、製品の取扱いにおいて、注意を喚起するための図記号です。
- このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告

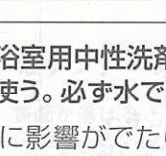
分解、修理、改造をしない
感電や故障の原因になることがあります。

照明器具のカバーを外したり、破損したまま使わない。
感電したり、電球が割れて、けがをするおそれがあります。

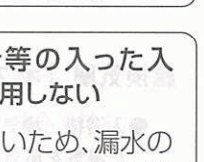
照明器具にタオル等を、かけない
過熱して、火災の原因になるおそれがあります。



幼児や身体の不自由な方だけで入浴させない
おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



浴室内で幼児だけで遊ばせない
おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

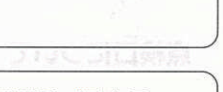


風呂フタに乗ったり、体重をかけたりしない
おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

排水栓は、排水口に確実に押し込む
空焚きとなり、火災のおそれがあります。

照明器具や換気扇の手入れは、電源スイッチを切ってから行う。
感電やけがをするおそれがあります。

浴室内に電気製品を持ち込まない
感電のおそれがあります。



組込まれる機器・水栓金具等については、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

循環温水器（24時間バス）は使用しない
浴槽に変色、破損のおそれがあります。

目地（コーキング）が切れたり、浮いたまま使用しない
漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

浴室の点検口のフタは、設備点検以外、絶対にあけない
フタが外れ、けがをしたり、水漏れのおそれがあります。

浴室内は、石けん液等ですべりやすくなるので、気をつける
ころんで、けがをするおそれがあります。

タオル掛け等に、ぶらさがったり、強く引っぱったりしない
転倒等により、けがをするおそれがあります。

浴槽のふちやカウンターなどには、絶対に乗らない
足をすべらせて、けがをするおそれがあります。

サーモ付混合栓以外でシャワーを使うときは、他の水栓を使わない
湯温が急上昇してやけどをするおそれがあります。

掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を表示書きにしたがい正しく使う。必ず水で流す
使い方を誤ると、人体に影響がでたり、本体に不具合を生じるおそれがあります。クレンザ等研摩剤入りのものは製品の光沢を損ないますので使用しないでください。

イオウ分等の入った入浴剤は使用しない
配管部をいため、漏水のおそれがあります。入浴剤の注意書きを充分お読みください。

ドアに勢いよく水をかけない 水漏れのおそれがあります。

排水口にシンナー等の溶剤を流さない
排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

浴槽から勢いよくお湯を溢れさせない
浴槽外に水が溢れたり、洗い場のフタが外れて、転倒するおそれがあります。

器具の位置をかえたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等に相談する
誤った取付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因となります。

エプロン、トラップフタを外して清掃する際は、ゴム手袋等で手を保護する
浴槽、エプロン、トラップフタ等の裏面でけがをするおそれがあります。

床表面に砂粒があるときはすぐに取りのぞく
床面に砂粒があると、イスや洗面器の引きずりにより、床面が削れることがあります。

水栓に足をかけない
破損、漏水のおそれがあります。

入浴前に必ず湯温を、確認する
やけどをするおそれがあります。

ドアの急激な開閉はしない
手や足をはさまれて、けがをするおそれがあります。

浴槽に無理な力をかけない
ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。

排水栓をつないでいるくさりの浴槽取付け部を無理に回さない
取付部がゆるむと、水漏れのおそれがあります。

風呂フタは必ず浴槽に合ったものを使用する
フタが外れたりして、けがややけどをするおそれがあります。

電球の交換や換気扇の掃除をするときは、必ず安定した踏み台を使う
バランスをくずして転倒し、けがをするおそれがあります。

シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめる
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

水栓ハンドルの急閉止はしない
配管から漏水し、家財等を濡らすおそれがあります。

入浴の際はドアを確実に閉める
溢れ水が浴槽外に出て、財産損害の発生のおそれがあります。

水栓の左側は給湯側のため高温になっていますので、金具（金属）の表面に直接肌を触れない
やけどをするおそれがあります。

凍結が予想される場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行う
凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害の発生のおそれがあります。

浴室の点検口があるタイプは点検時以外は、絶対にあけない
漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は使ったり近づけたりしない
金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。

便器にはトイレットペーパー以外は流さない
排水がつまり、汚水があふれて家財等を汚すおそれがあります。

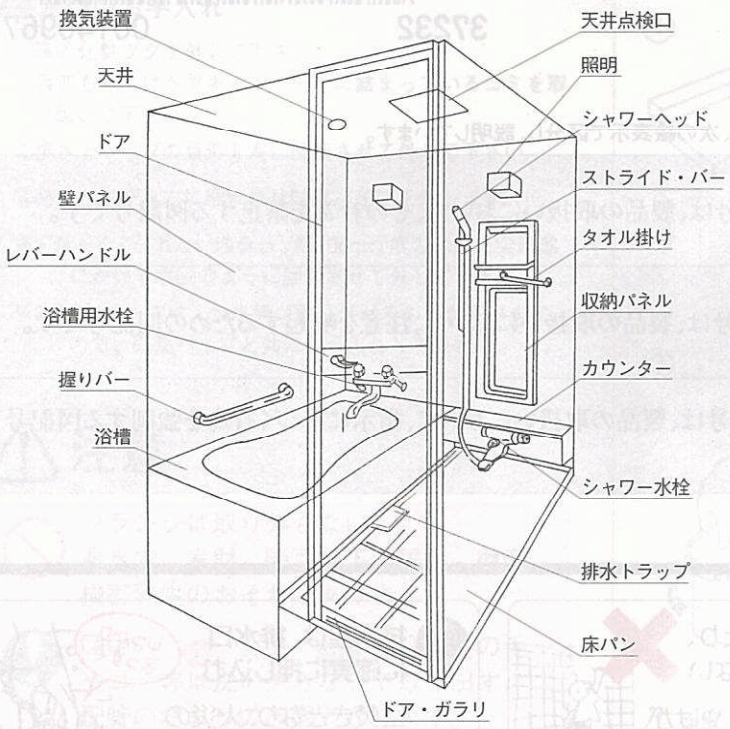
トイレ用洗剤は、便器（陶器部分）以外には使わない
他の部分に使用すると、変色、劣化等の不具合を生じるおそれがあります。

浴槽内にガラス製品等割れやすいものを、持ち込まない
割れて、けがをするおそれがあります。

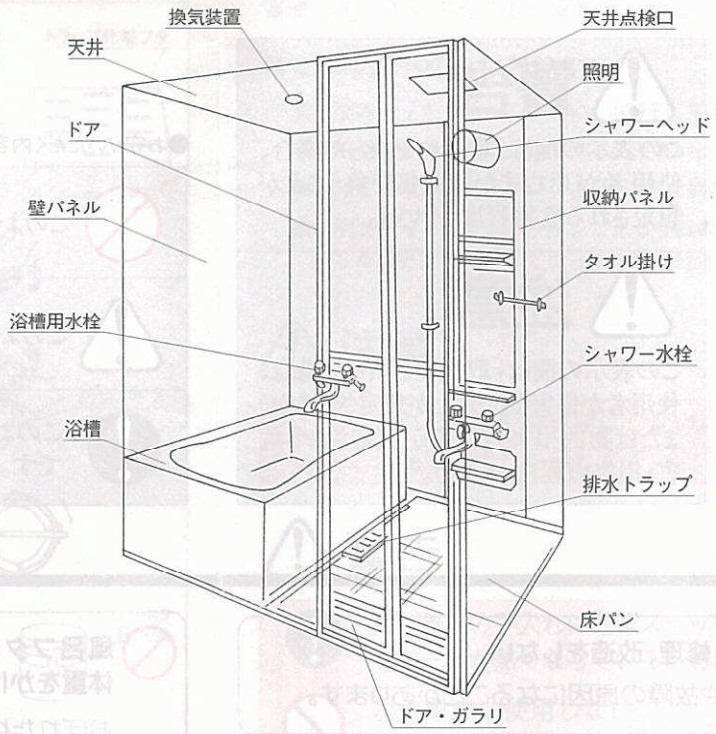
カビ取り剤は使わない
カビ取り剤は、壁の変色等を招くおそれがあります。

各部の名称

カウンタータイプ



収納パネルタイプ



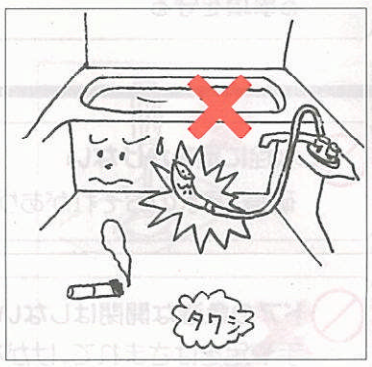
この図はユニットバスルームの組み合わせの一例です。ユニットバスルームは、建築物ごとに組み合わせ（各部の仕様）が異なる場合がありますので予めご了承下さい。

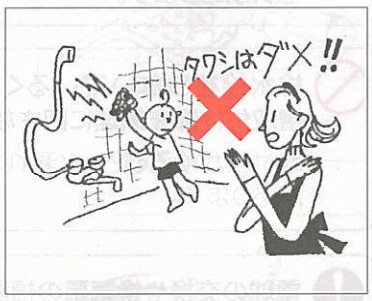
例：●収納パネル・ストライドバーがつかない組み合わせがあります。
●床排水トラップの位置が異なる場合があります。
●水栓がシャワー水栓のみの場合があります。

⚠注意 ご使用の注意事項

床・浴槽・壁・天井・人造大理石カウンターの表面保護について

■床面・浴槽・カウンターを傷つけないために





●金属タワシなどの硬いものでこすったり、重くて固いものを床に落とさないで下さい。

●タバコなどの火気を近づけないで下さい。

●ヘアピン・カミソリの刃などを床に置くと、サビが付着してとれなくなることがあります。

●酸・アルカリの強い洗浄剤、クレンザー、カビ取り剤、入浴剤、温泉水などのご使用はおさけ下さい。いずれも金具類や浴槽表面などの寿命を損なうことがあります。

●浴室用洗剤をご使用の場合は、洗剤に表示されている使用方法および注意事項に従って使用して下さい。

●床面に砂粒があるとイスや洗面器の引きずりにより床表面が削れることがあります。砂粒があるときは充分に取り除いてからご使用下さい。

■壁・天井を傷つけないために

●金属タワシなどの硬いものやクレンザーなど研摩剤でこすったり、たたいたりしますと、傷ついたり破損するおそれがありますので、ご注意下さい。

●壁・天井に穴をあけたり、釘打ち等をして棚やアクセサリーを取付けることは、絶対にしないで下さい。

点検口について

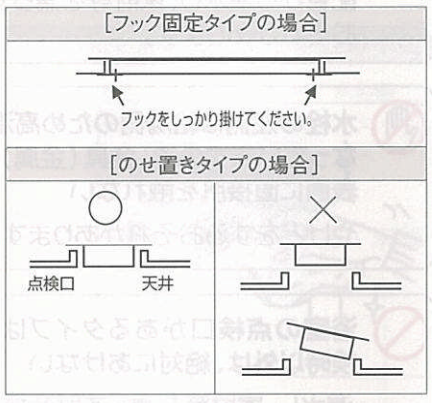
天井の点検口は配線・換気ダクトの点検のために設置してあるものです。

■点検の際に注意していただきたいこと

⚠警告

点検の際は、収納パネル・カウンターの上に乗ったり、天井にぶら下がったりしない。
転倒してけがをするおそれがあります。

●脚立をご使用の際は床面を保護して下さい。



■点検後は点検口をもとの通りに正しく

●点検を終わった後は点検口をもとの位置に正しく納めるようにして下さい。

洗面器の排水について

浴槽の排水と同時に洗面器の排水を行った際、洗い場の排水トラップ部分から水がにじみ出てくることがあります。その場合は、同時に排水することをやめて、別々に排水を行って下さい。

火気厳禁・薬品禁止について

■火気禁止

⚠警告

浴室内でタバコを吸ったり、その他の火気（コンロ・ストーブ等）を使用したりしない。
火災が発生するおそれがあります。

■薬品禁止

●中性洗剤以外のクレンザー、みがき粉、シンナー、アセトン、ベンジン、塩酸、現像液等の薬品は使用しないで下さい。

換気について

浴室内を湯気のこもったまま放置しておきますと、カビなどの発生原因となります。
また、浴室内のいたみが早くなることもありますので、換気を心がけて下さい。

■窓（オプション）がある場合

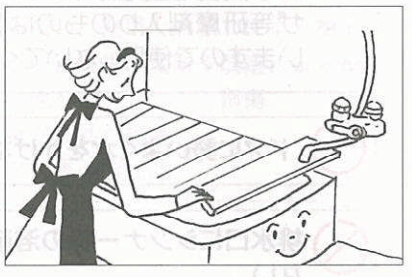
●窓をあけて換気を心がけて下さい。浴室内を湯気のこもったまま放置しておきますと、カビなどの発生原因となります。また、水分が残らないように、乾いたやわらかい布で拭き取りますとさらに美しさが長持ちします。

■換気扇（オプション）がある場合

●入浴後、換気扇を30分間以上回して、浴室内にこもった湯気を屋外へ排出して下さい。水分が残らないように、乾いたやわらかい布で拭き取りますと、さらに美しさが長持ちします。

■入浴後は浴槽に風呂フタを

●残り湯をとっておかれる場合は、浴室を長持ちさせるためにも浴槽には必ず、風呂フタをご使用下さい。（残り湯は防災にも役立ちます。）



目地材について

床・壁・天井の継目部分には目地シールをしておりますので、次のことにご注意下さい。

■防水上たいせつな目地材

⚠警告

目地材を破損させたり取り外しをしない。目地材は機種によってシリコン目地とパッキン目地の2種類があり、いずれも水漏れを防ぐために大変重要なものです。漏水等により財産損害発生のおそれがあります。

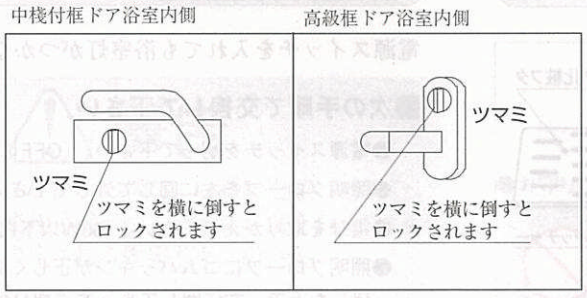
ドアロックの施錠・解錠

■レバーハンドル框ドア

［ドア形状］

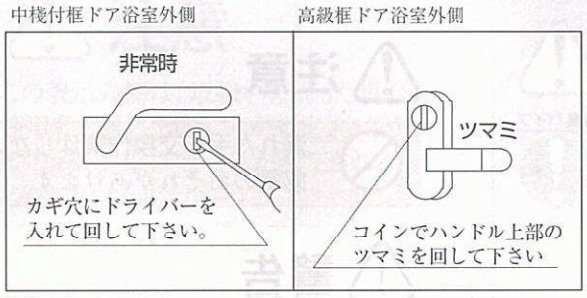
●浴室の施錠・解錠

ドアを閉めてからレバーハンドルの下にある開閉ツマミで操作します。



●非常時の浴室外からの解錠

ドライバーやコインを使って操作して下さい。

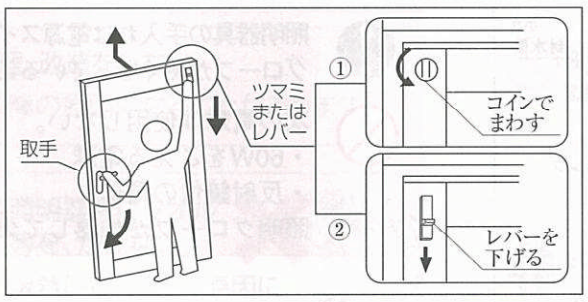


●非常時の浴室外からのドアの取り外し方

2タイプのドアがあります。

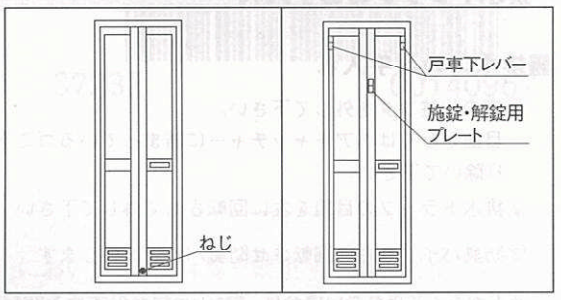
①ドア上部端にあるツマミをコインでまわして下さい。

②レバーの場合は下げて下さい。



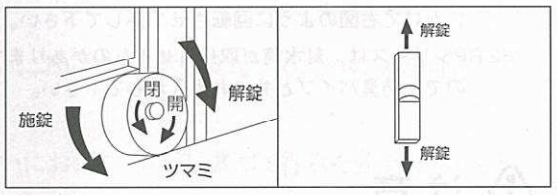
■折戸

［ドア形状］
（浴室外）



●浴室の施錠・解錠

ドア下部にあるツマミを操作し、施錠・解錠します。
スライドの場合はレバーを上下に動かして施錠・解錠します。

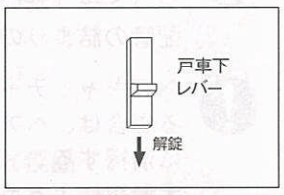


●非常時の浴室外からの解錠

㊀ドライバー等でネジを左に回すと解錠できます。
スライドの場合はプレートを下に動かして解錠します。

●非常時の浴室外からのドアの取り外し方

ドア上部端にある戸車レバーを下げて下さい。



収納棚について

●金属タワシなどの硬いものでこすったり、たたいたりしないで下さい。タバコなどの火気を近づけないで下さい。また、ヘアピン・カミソリの刃などを直接置くとサビが付着してとれなくなることがあります。

ドアについて

■ドアは湿気をきらいます。

●入浴中の飛沫は、入浴後に壁などと同様に乾いた布でカラ拭きして下さい。水滴をそのまま放置しておくと、カビやサビなどの発生原因になります。

■ドアに直接水をかけないようにして下さい。

●ドアまわりから、浴室外に水が飛散することがあります。

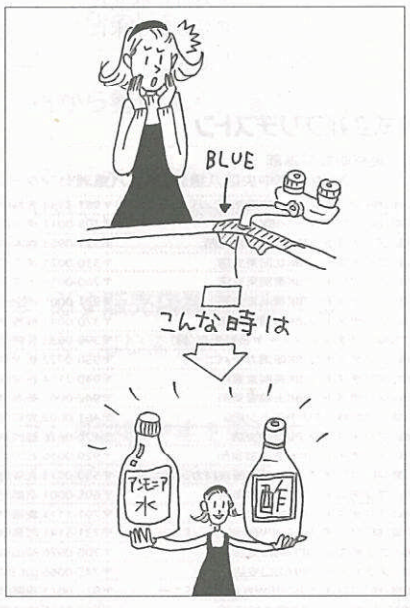
■ドアロックも水をきらいます。

●ドアロックに水をかけたりしますと、サビの原因となり、ロックの開閉がきかなくなりますのでご注意下さい。

青い水について

●浴槽やタオルがごくまれに青くなると「青い水が出た」といわれます。（建物が銅管を使っている場合にあります。）これは銅管が水と接すると若干溶けてイオンとなります。この銅イオンは水質基準1.0ppm越えることはありません。銅イオンが青く肉眼で見られるのは3ppm以上であり普通これほど多量の銅イオンが含まれることはありません。しかし、水が青くないのに浴槽やタオルがなぜ青くなるかといいますと、水中にある微量の銅イオンが、石鹸やアンモニア等の物質と混じると、濃い青色の化合物が生じ、付着するからでこの物質は無害です。もし、浴槽やタオルが青くなって不快がある場合は市販のアンモニア水と食酢とで交互に浴槽を拭いて下さい。タオル等の布類は中性洗剤で洗えばきれいに落ちます。

＊浴槽の色調がアイボリー系だと浴槽に入れた水が光の屈折で青色に見えることがあります。



■ドア材や面材（＝樹脂部分）はシンナー等の有機溶剤を使わないで下さい。

●シンナー等で拭かないで下さい。表面が溶けることがあります。また、ドアの面材（樹脂を拭く）にも絶対シンナー等を付着させないで下さい。

お手入れ方法

壁・天井・ドアのお手入れ

■少なくとも週一回

●やわらかい布またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて少なくとも週一回は、水分・湯アカ・ホコリを拭き取って下さい。

■汚れが落ちにくい時は

●工業用アルコールなどを、やわらかい布につけて拭き取って下さい。

●壁・天井の継目部分の目地材には、ゴミやアカがつきやすくカビが発生することがありますので、同様にこまめにお手入れをして下さい。

床および浴槽のお手入れ

■湯アカや石鹸カスはその日のうちにお掃除を

●湯アカは乾いてからでは落ちにくくなります。ご入浴後、排水するときに、やわらかい布またはスポンジで床や浴槽を軽く水洗いして下さい。

●中性洗剤をお使いになればさらに美しくなります。

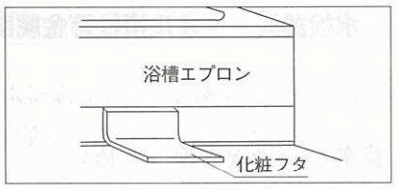
■汚れが落ちにくい時は

●工業用アルコールなどを、やわらかい布につけて拭き取って下さい。

浴槽下のお手入れ（RPシリーズ：フルパンタイプ）

■浴槽の下も週一回のお手入れを

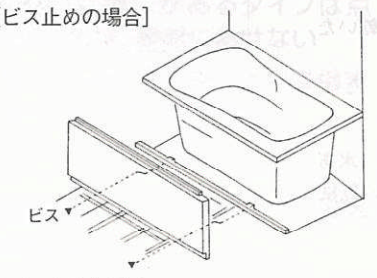
●排水トラップの化粧フタをはずすとホースを入れるだけのスペースがあります。ここから浴槽の下にホースなどで放水して掃除して下さい。



■床・壁などの手入れの際、浴槽エプロンを外す必要のある場合

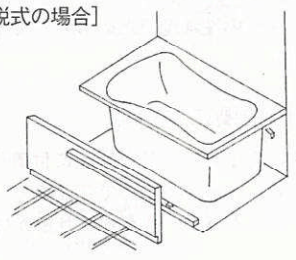
●下記の要領で行って下さい。

［ビス止めの場合］



1.ビスを取り外す
2.エプロンを上に持ち上げながら手前に引く

［着脱式の場合］



1.化粧フタを外す
2.排水口から手を入れエプロンを手前に引く

＊エプロンを外した際、絶対に浴槽は動かさないで下さい。　＊浴槽は空の状態で実施ください。

⚠注意　エプロンを外す際、手をかけるところの、水分をよく拭き取る。手がすべり転倒の恐れがあります。

お手入れ方法

排水トラップのお手入れ

■排水口のお手入れ

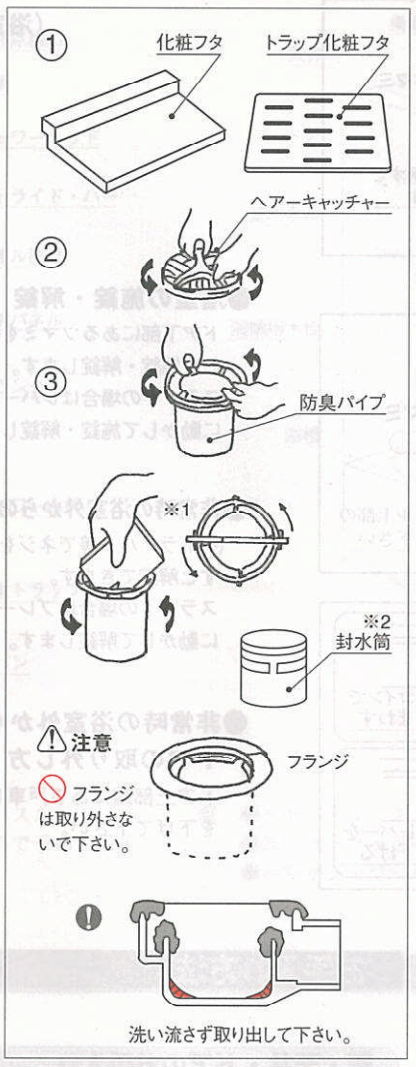
①床の化粧フタを外して下さい。
目皿もしくはヘアキャッチャーに詰まっているゴミを取り除いて下さい。

②排水トラップの目皿を左に回転させて外して下さい

③防臭パイプを左に回転させ防臭パイプを外します

※1 かたくて外れない場合は、幅10cm程度の木片を突起部にかけて右図のように回転させて外して下さい。

※2 RPシリーズは、封水筒が取り外せるものがありますので、防臭パイプと共にお手入れして下さい。



⚠注意

フランジは取り外さない。
漏水で、家財、隣戸階下住居等、財産損害発生のおそれがあります。

図中の 部分 部分の髪の毛やゴミ等は洗い流さないで取り出す。
配管の詰まりの原因となります。

ヘアキャッチャーが取り付けられている場合は、ヘアキャッチャーをこまめに清掃する。
毛髪等による目詰まりにより排水性能が低下して、浴室外へ漏水するおそれがあります。

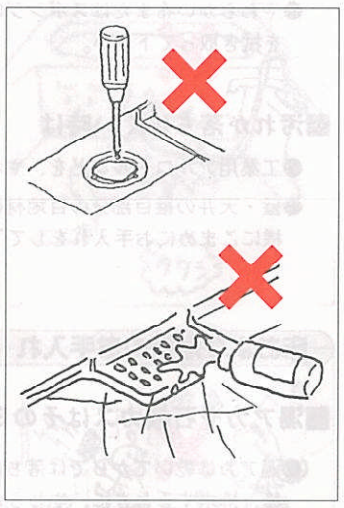
【お願い】

⚠注意

トラップ固定用のフランジは外さない。
接続部から漏水して大事故に発展することがありますので、説明図に従って下さい。

トラップに溶剤・塗料・接着剤・薬品など（例えば、写真現像液）を流さない。
トラップが変形したり、侵されたりすることがありますので、流さないよう充分注意して下さい。

強い薬品や洗剤を浴室内で使わない。
トラップが割れるおそれがあります。万一ご使用になってしまった場合は、充分に水を流して薬品や洗剤が浴室およびトラップに残らないように充分注意して下さい。



【ご注意】

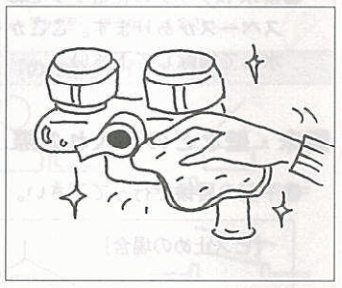
●目皿もしくはヘアーキャッチャーから取り除いた毛髪やゴミは排水管に流さないで下さい。詰まりの原因となります。

●トラップはいつも正常にセットして下さい。防臭パイプを確実にセットしないと排水管の臭いが上がってきます。

●ヘアーキャッチャーを取り外した状態でのご使用はお避け下さい。毛髪やゴミなどの詰まりの原因となります。

水栓器具・タオル掛け等金属部のお手入れ

やわらかい布で磨くことが、なによりのお手入れ方法です。



■美しい光沢を保つために

●年に二回程度シリコン油・ミシン油を浸した布で拭いていただきますと、いつまでも美しい光沢を保てます。

■油類が付着したときに

●石けん液や中性洗剤で洗い落として下さい。この後、乾いた布で水気をとって下さい。

■金属部の白濁について

●水道水に含まれる成分が表面に付着して白濁すること（水あかの付着）がありますのでご注意ください。ご使用後に乾拭きしていただけば、きれいな状態が維持できます。

■ステンレス製品の錆について

●ご使用の状態によっては、ステンレス製品でも錆の発生するおそれがあります。ステンレス製品のお手入れは、水洗いと乾拭きで充分です。万一、錆が発生してしまった場合には、ブラシ等で錆を除去し、充分に水洗いの上、乾拭きするようにして下さい。

照明器具の交換方法

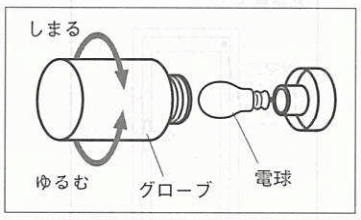
電源スイッチを入れても浴室灯がつかないときは、電球が切れていることが考えられます。

■次の手順で交換して下さい。

●電源スイッチを切って下さい。（OFFにする）
●照明グローブを左に回して外して下さい。
●電球を取りかえて下さい。（60W以下白熱灯）
●照明グローブにゴムパッキンが正しく装着されているのを確認した上で、右に回してまっすぐ取り付けて下さい。

⚠注意

濡れた手で交換作業はしない。
感電のおそれがあります。



＊形状は浴室タイプで異なります。

⚠警告

照明器具の手入れは電源スイッチを切ってから行う。
グローブが熱くなっていることがありますので、充分冷ましてから作業して下さい。

次の電球は使用しない。
・60Wをこえる電球
・反射鏡付の電球
照明グローブが加熱して火災のおそれがあります。

鏡のお手入れ

■鏡の白濁について

●水道水に含まれる成分が表面に付着して白濁すること（水あかの付着）がありますのでご注意ください。ご使用後に乾拭きしていただけば、きれいな状態が維持できます。

■洗剤等のご注意

●強い薬品や洗剤を鏡（特に裏面側）に付着させたまま放置すると、鏡が変色するおそれがありますので、ご使用にならないで下さい。万一、ご使用されてしまった場合は、ご使用後に十分に水を流して薬品や洗剤が残らないように心掛けて下さい。

いつまでも美しくお使いいただけるよう、日頃のお手入れをして下さい。

■お手入れに必要な用具

●乾いたやわらかい布またはスポンジ
●中性洗剤や、バスクリーナー
●工業用アルコール（リグロイン、エタノール等）

■お願い

●清掃後は洗剤が残らぬよう充分水洗いをして下さい。

⚠注意

シンナー、アセトン、塩酸、みがき粉およびカビ取り剤を使用しない。腐食、サビ、壁の変色等を招くおそれがあります。

アフターサービスについて

本物件は建築会社と弊社との間で下記のような保証になっております。

■商品名　ユニットバス

保証期間　（1）本　　体：竣工検査後２年間
（2）付属部品：竣工検査後１年間

●注：「本体」とは、ユニットバスの天井・壁・床および建具材と、これらを組み合わせして箱体を構成するための部品類。
「付属部品」とは、天井・壁・建具材に取り付けられた部品および床に設置された部品。

但し、下記事項によるものは保証しかねます。
（イ）取扱説明書に従わない、使用上の誤りによる損傷
（ロ）組立後の移動および建築物の変形や改造による損傷
（ハ）天災、火災、その他不可抗力による損傷
（ニ）その他、製造・組立以外の損傷
（ホ）電球・水栓パッキン等の消耗品

株式会社ブリヂストン

建設資材販売促進部
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-6 八重洲センタービル9F　TEL.03-5202-6863　FAX.03-5202-6868

東北(株)ブリヂストンIPT東北カンパニー	〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字東裏180-1	TEL.022-772-8852	FAX.022-772-8856
関東(株)ブリヂストンIBK	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 ダヴィンチ芝パークA-9F	TEL.03-4590-7007	FAX.03-4590-7027
(株)ブリヂストンIBK宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷4-1-18 鈴信ビル2F	TEL.028-637-1121	FAX.028-638-5611
(株)ブリヂストンIBK北関東支店	〒330-0021 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-9-3	TEL.048-666-2341	FAX.048-665-6270
(株)ブリヂストンIBK東関東支店	〒260-0016 千葉県千葉市中央区栄町42-11 日本企業会館5F	TEL.043-222-0071	FAX.043-222-0233
(株)ブリヂストンIBK横浜営業所	〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町1-3 綿通横浜ビル8F	TEL.045-222-7750	FAX.045-222-7790
(株)ブリヂストンIBK高崎営業所	〒370-0043 群馬県高崎市高関町東沖438-1	TEL.027-310-6605	FAX.027-310-6606
甲信越ブリヂストンタイヤ長野販売(株)	〒399-0033 長野県松本市笹賀7950	TEL.0263-26-8700	FAX.0263-26-1798
(株)ブリヂストンIBK新潟カンパニー	〒950-0922 新潟県新潟市中央区山二ツ2-17-26	TEL.025-286-2131	FAX.025-286-8010
(株)ブリヂストンIBK長岡営業所	〒940-2114 新潟県長岡市北山4-54-1	TEL.0258-28-0011	FAX.0258-28-1654
(株)ブリヂストンIBK上越営業所	〒942-0061 新潟県上越市春日新田1-20-38	TEL.025-544-8725	FAX.025-544-8744
中部・北陸(株)ブリヂストンIPG	〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町35-16 第一富士ビル5F	TEL.052-930-8763	FAX.052-930-8768
(株)ブリヂストンIPG静岡支店	〒420-0816 静岡県静岡市葵区吉谷6-3-3	TEL.050-3530-9267	FAX.054-263-9358
(株)ブリヂストンIPG金沢営業所	〒920-0056 石川県金沢市出雲町イ329	TEL.050-3530-9263	FAX.050-3530-9264
近畿(株)ブリヂストンIPS建設資材カンパニー	〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル13F	TEL.06-6534-1865	FAX.06-6534-1877
(株)ブリヂストンIPS京滋営業所	〒605-0001 京都府京都市東山区三条通大橋東2-73-2 京都三条大橋ビル4F	TEL.075-762-0360	FAX.075-762-0370
(株)ブリヂストンIPS松山営業所	〒791-1113 愛媛県松山市森松町858-1	TEL.089-970-9355	FAX.089-970-9307
中国(株)ブリヂストンIPW中国カンパニー	〒731-5141 広島県広島市佐伯区千同2-1-40	TEL.082-923-3550	FAX.082-923-3390
(株)ブリヂストンIPH岡山支店	〒700-0976 岡山県岡山市辰巳37-101	TEL.086-241-8442	FAX.086-241-6456
(株)ブリヂストンIPH山口支店	〒745-0066 山口県周南市岡田町3-10	TEL.0834-21-2372	FAX.0834-32-4657
九州(株)ブリヂストンIPW九州カンパニー	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-13-21 エフビル	TEL.092-415-2766	FAX.092-483-3055
(株)ブリヂストンIPK熊本営業所	〒862-0935 熊本県熊本市御領6-1-51	TEL.096-389-4040	FAX.096-389-0215